

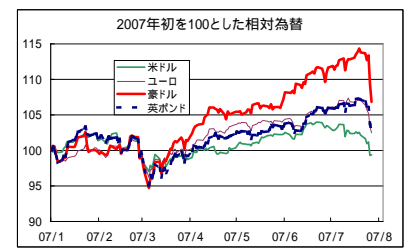
投資の基礎講座 「為替相場の動き」

このところの為替相場の動きを見ていると、円安に歯止めがかかってきたように思えます。右の図は、米ドル、ユーロ、豪ドル、英ポンドの円に対する価格を今年の初めを100としてみたものです。対円で値上がりが続いていた豪ドル、ユーロ、英ポンドが対円で急落しています。また、対米ドルは年初よりも円高になっています。

これまで、円安の説明として、「日本の金利と海外の金利差が縮小しないため、円を高金利通貨に替えて運用するため」と言われることが多かったと思います。では、この急落は「内外金利差が縮小したから」なのでしょうか。残念ながら、そのような傾向は見られません。確かに、米金利は「サブプライムローン」といわれる信用度の低い人向けの貸し出しに問題が発生していることから、長期金利がやや低下はしていますが、これほど急激に円高になるような金利低下ではありません。

為替相場は通貨の交換を行う市場であり、相場を動かす要因は様々です。短期的には需給関係が、中期的には金利差が、長期的には国際収支など経済状況が主な要因となります。しかし、ひとつの要因だけで相場が動くことは少なく、様々な要因が絡まって相場が動きます。だから「解らない」と逃げるのではなく、今はどんな要因で動いているのか自分なりの考えを持って、相場の動きを見てみると新たな発見があるかもしれません。

CFP®認定者
日本FP協会群馬支部副支部長 大谷 明



先週の金融市場データ

週間高低表(終値ベース)	週初	高値	安値	週末終値
日経平均株価	17,963.64円	18,002.03円	17,283.81円	17,283.81円
TOPIX	1,757.29	1,765.99	1,699.71	1,699.71
東証1部単純平均	467.63円	468.90円	451.56円	451.56円
東証1部売買高	2,189,550千株	2,505,050千株	1,955,660千株	2,505,050千株
ニューヨークダウ平均	13,943.42ドル	13,943.42ドル	13,265.47ドル	13,265.47ドル
NASDAQ	2,690.58	2,690.58	2,562.24	2,562.24
10年国債利回り	1.850%	1.865%	1.780%	1.780%
5年国債利回り	1.445%	1.450%	1.365%	1.365%
無担保コールO/N	0.500%	0.500%	0.490%	0.490%
ドル/円相場	120.91円	120.91円	119.05円	119.05円
ユーロ/円相場	167.15円	167.15円	163.18円	163.18円
1ユーロ=ドル	1.3824ドル	1.3824ドル	1.3704ドル	1.3704ドル
豪ドル/円相場	106.70円	106.80円	104.01円	104.01円
米国FFレート	5.2500%	5.3125%	5.2500%	5.2500%
米国10年国債利回り	4.95%	4.95%	4.76%	4.76%
ドイツ10年国債利回り	4.44%	4.44%	4.31%	4.31%

スーパー定期(ニュー定期)金利表

平成19年7月30日現在

	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	2年
群馬銀行	0.25%	0.25%	0.27%	0.35%	0.40%
東和銀行	0.25%	0.25%	0.27%	0.35%	0.40%
高崎信用金庫	0.25%	0.25%	0.27%	0.35%	0.40%
郵便局	0.25%	0.25%	0.27%	0.35%	0.40%

ライブプラン21 夏季人脈づくり交流会のお知らせ

一般生活者と専門家のネットワーク「ライブプラン21」では、下記のとおり、「夏季・人脈づくり全体交流会」をおこないます。今回は、「私が体験・経験から学んだこと」をテーマに、20人の仲間たちにお話をさせていただきます。他人の体験・経験から学ぶことがたくさんあると思います。どなた様も参加できます。お気軽にお越しください。

記
 テーマ: 私が体験・経験から学んだこと
 日時: 8月22日(水)18:30~21:00
 会場: 群馬県勤労福祉センター 前橋市野中町361-1
 定員: 100名
 参加費: 無料

今週の株式相場見通し

先週の株式市場は、参院選を控えていることから様子見となっていたところに、米サブプライムローン問題の再燃や予想を下回る企業決算などから米株相場が大幅安となり、つれて国内株も大きく値を下げました。日経平均株価はほぼ3ヶ月ぶりに17300円を割り込みました。

今週の株式相場は、参院選で自民党が大敗したことや先週の米国株式相場に下げ止まり感が見られなかったことから下値模索の展開が予想されます。もっとも、4-6月期の企業業績は総じて好調なことから大きく売り込まれることは無いと思います。仮に日経平均株価が17000円を割り込む場面があったとしても、押し目買いが入り反発するものと思います。

しかし、先週の下げで上昇トレンドに一旦終止符が打たれたと見られることから戻りも限られそうです。

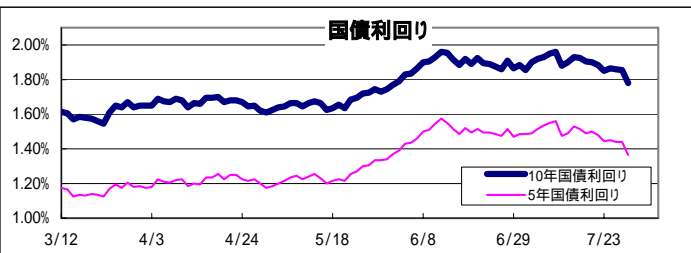
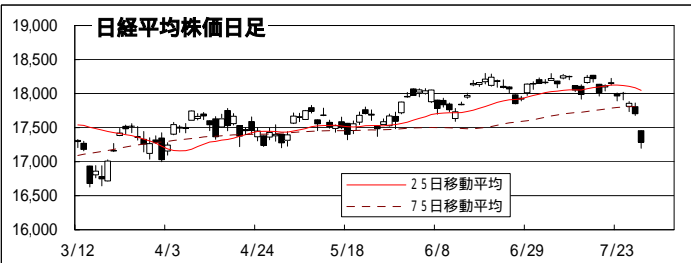
今週の債券・為替相場見通し

先週の債券相場は、株相場の急落を受け、債券相場は上昇、10年国債利回りは一時1.780%まで、5年国債利回りも1.365%まで低下しました。

今週の債券相場は、先週の金利低下はやや行き過ぎと思われることから調整を余儀なくされるものと思います。2日に10年国債の入札を控えていることから、大きく買い進めると発行金利をさらに引き下げることになるため慎重になるものと思います。10年国債利回りでは1.76~1.85%程度での推移となりそうです。

先週の為替相場は、米サブプライムローン問題の影響で米金利が低下したことから円は上昇、さらに、米国株の急落を受けドル売りが加速、週末には一時1ドル=118円前半まで円高・ドル安が進みました。また、他通貨に対しても円は急騰しました。

今週の為替相場は、米住宅ローン問題が尾を引くことや円安トレンドに変化が見取れることから、円はしっかりした値動きとなることが予想されます。参院選の結果が気にはなりますが、大きく円が売り込まれることはなさそうです。



本資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、取引の勧誘を目的としたものではありません。ここに記載されているデータ、は信頼できる各種情報源から入手したものであり、その正確性や完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された見解や予測等は資料作成時点における個人的意見であり、ライブプラン21が保証するものではありません。投資に関する最終決定はお客様自身の判断でなさるようお願い申し上げます。

CFP®, CERTIFIED FINANCIAL PLANNER®およびサーティファイドファイナンシャルプランナー®は、米国外においてはFinancial Planning Standards Board Ltd. (FPSB)の登録商標で、FPSBとのライセンス契約の下に、日本国内においてはNPO法人日本FP協会が商標の使用を認めています。